

# 平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	05030101	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	買い物弱者対策と地域公共交通のあり方調査研究	担当部署名	地域振興課
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明
		内線	451
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	05建設・交通	03公共交通の充実	01地域公共交通システムの構築
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成23年度～ 年度)	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—
		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>買い物弱者(高齢者等)への支援策と地域公共交通との連携のあり方などを調査研究し、本村域に買い物弱者の解消と対応策を図る。</p> <p>②内容</p> <p>買い物弱者への支援と地域公共交通のあり方について、現状の把握や分析、対応策などを調査研究する。</p>	<p>村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>高齢者等の買い物弱者の利便性の向上</p>	<p>地域課題の抽出及び施策展開の手法</p>

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	0	0	0	4,059	4,000			
財源内訳	国庫支出金			3,400	2,000			
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財一般財源	—	—	—	659	2,000		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0	0	0	0			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	0	0	0			
総コスト費(千円)(A+C)	0	0	0	4,059	4,000			
人口あたりコスト(円)	0	0	0	670	660			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	調査研究会	回	12	0	0%	12	12
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値)      0% / 1 = 0% (A)

### Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村民の快適な暮らしを育むため概ね妥当である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	買い物弱者の利便性の向上に資するため一応の効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	効率性について調査研究が必要である。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	効率性について調査研究が必要である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	12	/16	75%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
0%	75%	38%	d
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	A ← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
買い物弱者の解消については、いずみ市民生協に委託し移動販売車を村内数力所で実施しており、範囲の拡充を図る。今後、公共交通の他事例の研究等を具体的に進める。	

### Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
買い物弱者の解消については、いずみ市民生協に委託し移動販売車を村内数力所で実施しており、範囲の拡充を図る。今後、公共交通の他事例の研究等を具体的に進める必要があると考える。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
買い物弱者の解消については、いずみ市民生協に委託し移動販売車を村内数力所で実施しており、範囲の拡充を図る。今後、公共交通の他事例の研究等を具体的に進める必要があると考える。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止